

健康保險法案特別委員會會議事速記録第一號

委員氏名

委員長 子爵片桐 貞央君
副委員長 江木 翼君

男爵武井 北里 榮三郎君
男爵平野 守正君
男爵福原 滿之進君
男爵福原 長祥君
男爵福原 俊丸君
金杉 英五郎君
横山 章君

大正十一年三月二十日(月曜日)午後一時二十三分開會
○委員長(子爵片桐貞央君) 是ヨリ開會イタシマス、政府ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(男爵四條隆英君) 本案ヲ提出イタシマシタ理由ヲ簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス、御承知ノ如ク勞働力ヲ唯一ノ收入ノ資源ト致シテ居リマス勞働者ガ、病氣トカ怪我トカ云フ災害ノ襲來イタシマス爲ニ、一方ニハ收入ノ途ヲ失ヒマスルシ、他ノ一面ニハ醫藥等ノ費用ヲ必要ト致シマスガ爲ニ、往々勞働者ニ付テ其家族ヲ驅テ、親境ニ陷ラシムルコトノ例ニ空シカラヌコトハ、皆様ノ御承知ノ通りデゴザイマス、而シテ是等ハ不斷カラ 斯様ナ場合ニ備ヘル爲ニ、他日ノ計ヲ考慮セシメテ置ケバ宜シイト云ヤウナ譯デアリマスケレドモ、彼等ノ知識道德ノ程度ガ低イ事デゴザイマスシ、爲ニ遠キヲ慮テ將來ノ計ヲ爲スト云フ念慮ニ乏シイノデゴザイマスシ、又往々之ヲ爲シタイト思ヒマシテモ其餘裕ガゴザイマセヌデ、彼等ヲ圍繞シテ居リマス種々ノ誘惑ノ爲ニ誤ラレテ、容易ニ其目的ヲ達スルコト云フ事ハ甚ダ困難ナコトト思フデアリマス、サレバ強制ノ手段ニ依テ彼等ガ平素取得イタシマス所ノ收入ノ一部分ヲ割イテ、之ヲ蓄積シ以テ將來生計ノ基礎ヲ鞏固ニセシムルト云フコトハ、人道上カラ申シマシテモ亦經濟上カラ申シマシテモ、其ニ必要缺クベカラサル事デアラウト思フデアリマス、而シテ此保險制度ハ此目的ヲ達シマスル上ニ付テ、最も必要トスル方法デアルト云フコトハ、私ガ此處デ申述べル迄モナイ事ト思フデアリマス、今ヤ此工場工業制ノ發達イタシマシタ諸國ニ於キマシテハ、疾病災害保險ヨリ始マリマシテ癩疾、老衰及ビ遺族等ノ保險ニ及ビ、又最近ニ於テハ失業保險制ノ實施ヲ見ルニ至、タコトハ皆様ノ御承知ノコトデアリマス、而シテ此度我國ニ於キマシテ實施イタ

シマスル爲ニ、茲ニ提案イタシマシタ所ノ健康保險法案ハ所謂疾病保險ト災害保險ノ一部ヲ併セ行ハントスルモノデゴザイマシテ、疾病負傷ニ罹ラテ居ル者ハ其治療回復ヲ速カナラシメ、又妊産婦ノ保護ヲ致シテ母體及ビ乳兒ノ健康ヲ保障シ、専ラ勞働力ノ減殺ヲ低減スルコトニ意ヲ用ヒ、日常頻々トシテ起ル一時的ノ障害ノ除却ヲ圖ルコトヲ努メントスルノデゴザイマス、勿論サレバト申シテ、永久的ノ障害ノ除却ヲ輕ンジテ居ルト云フ譯デハゴザイマセヌケレドモ、此種ノ保險制度ヲ立テ之ガ運用ヲ圓滑ナラシムル爲ニハ、尙ホ一層精密ナル調査ノ完了ヲ待テ之ヲ實施イタシマセヌケレバ、甚ダ困難デアアル故ニ先ヅ此勞働者ノ最も多クノ場合ニ、困難イタシテ居リマスル所ノ、一時的ノ障害ノ除却ヲ目的トスル所ノ健康保險法案ヲ實施イタシマシテ、其運用ニ伴フテ是ヨリ漸次整理セラレテ參リマスル所ノ施設ニ對シテハ、本法實施ノ實驗ニ依テ其完成ヲ期シタイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、今回茲ニ提案イタシマシタ健康保險法ノ内容ノ大體ハ御一讀下サイマシタナラバ、明瞭ナコトト思ヒマスガ極ク簡單ニ其内容ノ大體ヲ申上ゲマス、右申上ゲマシタヤウナ趣旨ヲ立案イタシマシタノデ、今回行ハレマスル所ノ勞働保險ヲ以テ救済セントスル事項ハ、所謂疾病及ビ負傷ニ對シテ事實上ノ治療ヲ致シマシテ、其爲ニ休業ヲ致シテ居リマス間、賃銀ヲ得ラレナイ間其生活費ヲ補償イタス爲ニ、手當金ヲ支給イタシマス、又分娩ニ關シテハ、分娩、産前産後ノ休養ヲ要スル間手當金ヲ支給イタシマス、又死亡ニ對シテハ埋葬ノ費用ヲ支給イタサウト云フノガ、本案ノ目的デゴザイマス、而シテ被保險者ノ範圍ニ付マシテハ、御承知ノ如ク近來ノ此種ノ保險制ハ、成ルベク廣イ職業ニ從事イタシマスル勞働者及ビ中流以下ノ賃銀所得者ヲ、包含セシムルト云フ事ヲ理想ト致シテ居リマスケレドモ、何分我國ニ於キマシテハ、マダ一般ノ勞働事情ガ十分整成イタシテ居リマセヌモノモ、少クナイノデゴザイマスシ、又保險ノ實施ヲ必要ト致シマスル所ノ諸般ノ基礎材料ノ蒐集ガ、甚ダ困難デアアル等ニ鑑ミマシテ、最も本案ヲ實施イタシマスルニ比較的材料ノ整ウテ居リマスル所ノ工場、鑛山、其他工業の事業ノ從業者カラ、之ヲ實施イタシテ之ガ實施ノ經驗ヲ得テ、且ツ一面相當材料ノ整成スルヲ待チマシテ、他ノ範圍ニ推シ及ボシテ行キタイト云フ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス、尙ホ又此保險ヲ擔當イタシマシテ參リマス者ニ付キマシテハ、御

承知ノ通り此保險制度ノ最も恐レテ居リマス所ハ、假病ヲ以テ保險ノ給付ヲ受ケヤウト考ヘテ來ル者ノ取締デゴザイマス、是等ノ關係ヲ考慮イタシマスル大體相互組織ノ組合ヲ以テ之ヲ實施イタシマスルコト云フコトガ、是ハ歐米各國ノ立法例ニ付テ見マシテモ、亦學者ノ議論等ヲ參酌イタシマシテモ實際之ヲ可ト致シテ居ルノデゴザイマセヌケレドモ我國ニ於キマシテ從來是等ノ組合ノ運用ノ實際上ノ成績ニ鑑ミマシテ又一般ノ勞働保險ニ關シテ經驗等ノ乏シイ所モ考慮イタシマシテ今直ニ之ヲ全部相互組織ノ組合ニ依ッテ運用セシムルト云フコトハ、必ズシモ万全ノ策デハナイト云フ風ニ認メマシタカラ、一部ニハ是等ノ組合ニ依テ運用ヲ致ス事ノ確實デアルト云フヤウナ場合ヲ除キマシテ他ハ實施ト監督ヲ致シマス、政府ノ干渉ヲ致シマス所ノ保險ヲ以テ實施イタシテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、又是等ノ健康保險組合ノ事業ノ經營ニ付キマシテハ政府ハ十分ナル監督ヲ致シマシテ濫リニ此ノ保險ノ目的ヲ失フヤウナコトノナイヤウニ十分ナル監督ヲ指導ト努メテ行ク考デゴザイマス、而シテ此保險給付ニ付テ大體申上ゲマスガ此本法ニ於キマスル保險給付ニ付テマシテハ疾病ト負傷ニ關シマシテハ、事實上必要ナル治療ヲ加ヘルコト云フコトヲ本則ト致シテ居リマス、而シテ是ガソノタメニ休業中勞務ニ服スルコトガ出來ヌ爲メニ、賃銀ヲ得ルコトガ出來マセヌ間、其爲メニ所謂賃銀ノ百分ノ六十ニ相當スル傷病手當金ヲ支給、出スト云フコトニ致シタノデゴザイマス、又死亡ニ付キマシテハ賃銀ノ二十分ニ相當スル埋葬費ヲ支給シ分曉ニ付キマシテハ二十圓ノ分曉費ヲ其休業中賃銀ノ六割ニ相當スル出産手當金ヲ支給致サウト云フノデゴザイマス、而シテ此疾病負傷ニ付キマシテハ此保險ニ於テ引受マスル期間ハ從テ百八十日ニ減定イタシマシタ次第デゴザイマス、是ハ内外ノ統計ニ付キマシテ見マシテモ、大體六箇月ヲ經過イタシマスレバ殆ド大部分、所謂病氣ハ治療シテ行ケルヤウニ見受ケラレルトデゴザイマス、我國ノ實際ノ事例ニ付テ見マシテモ、先ヅ大體九十九「パーセント」餘ト云フモノガ殆ド此期間ニ於テ治療致シテ居ルノデゴザイマス、先程モ一寸申上ゲマシタ様ニ此假病ヲ以テ保險ノ給付ヲ得様ト云フヤウナ不心得ノ者ヤ、故意ニ治療ヲ遅延セシメテ休業ノ手當金ヲ成ルベク餘計取ルト云フヤウナ不心得ノ者ノ出來マスル事ハ、此保險制度ヲ實施イタシテ參リマス上ニ於テ其基礎ヲ薄弱ナラシメルヤウナ

コトニナリマスルシ、又勞働能率ヲ減殺セシメマシテ保險ノ所謂精神ヲ沒却スルコトニナリマスカラ、此點ニ付キマシテハ特ニ嚴重ニ監督ヲ致シマシテ、尙モ不正ノ手段ヲ以テ保險ノ給付ヲ受ケヤウトスル者ヤ、又療養ニ關シマシテ其指揮ニ從ハザル者ニ對シテハ制裁ヲ致シマシテ、保險給付ノ全部又ハ一部ノ支給ヲ爲サズモ宜シト云フヤウナ規定ヲ設ケマシタリヤウナ次第デゴザイマス、ソレカラ此保險費用デゴザイマスルガ此健康保險ニ要シマス費用ハ先ヅ保險ノ利益ヲ受ケマスル所ノ被保險者ト被保險者ヲ使ッテ居リマス事業主ニ於テ負擔ヲ致シマスノガ條理デハゴザイマスアレドモ、又他ノ一厘ニ於キマシテ、此制度ノ如キハ詰リ國家ノ産業ノ發達ヲ圖ル上ニ於キマシテ、最モ必要ナ施設デアラウト考ヘマスカラ、國家モ相當ニ費用ノ其一部ヲ負擔スルコトヲ至當ト認メマシテ本保險ニ要シマス費用ノ中デ保險給付ノ一割ト云フモノトソレカラ保險ノ監督ニ要シマスル經費ヲ國庫デ之ヲ負擔シ、其他ハ被保險者及ビ事業主ガ之ヲ負擔スルコト云フコトニ致シマシタ次第デゴザイマス、而シテ此事業主ト被保險者トノ間ニ於テ、保險料ヲ分擔イタシマス割合ハ原則ト致シマシテ、先ヅ半々即チ切半主義ヲ採ルコトヲ妥當ト認メタ次第デゴザイマス、即チ危險率ハ特ニ高イ或ハ被保險者ノ負擔ノ部分ガ或ル限度ヲ越エマス場合ニハ是ハ特ニ其業務ノ性質ガ、自然危險ガ多イトカ、病氣ニ罹リ易イト云フヤウナコトニ就業致シテ居ルコトデゴザイマスカラ、是等ノ場合ニハ事業主ノ負擔ノ割合ヲ相當増加スルコトヲ至當ト認メマシテ、斯様ナ規定ヲ設ケタ次第デゴザイマス、尙ホ此保險ノ實施、運用ニ付キマシテ相當保險ニ對シ、色々ナ爭訟等モ自然起ルコトト思ヒマスルガ、是等ガ一々面倒ナル手續ニ依リマシテ爭訟ヲ採決デ參ルト云フコトハ徒ラニ時ヲ費シ又時期ヲ失スルモノ云フヤウナ恐レガゴザイマスカラ特ニ保險審査會ナルモノヲ設ケマシテ、而シテ其審査ノ採決ニ對シマシテ、尙ホ不服ナル者ノ保險給付ニ付キマシテハ通常裁判所ニ出訴スルノ途ヲ認メ、又保險料其他徵收金ノ賦課等ニ關シマスル事柄ニ付キマシテハ、訴願若クハ行政訴訟ノ途ヲ開イタ次第デゴザイマス、右ハ大體デゴザイマスルガ、只今申述ベタヤウナ趣旨ヲ以チマシテ斯様ナ健康保險法案ヲ成案イタマシタ次第デゴザイマス、尙ホ其他ノ點ニ付キマシテハ又御質問ニ應ジマシテ御答ヲ申上ゲタイト考ヘマス

○委員長(子爵片桐貞央君) 一寸皆サンニ御諮リ致シマスガ、此際大體ニ付テノ御質問ヲ願ヒマシテ、大體ノ質問ガ濟ミマシタナラバ逐條ニ耳ヲ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○上山滿之進君 異議ナシ

○委員長(子爵片桐貞央君) ソレデハ其ヤウニ質問ヲ願ヒ

マス

○男爵平野長祚君 極ク大體ニ付テ伺ッテ見タイト考ヘマスルガ、今回此提案ニナリマシタ所ノ健康保險ハ、只今御説明ノ通り疾病傷害、此二點デアリマスカラ、或ハ失業、老廢其他ノモノハドノ位ノモノニ加ヘルコトナルト云フ積リデアリマスカ、甚ダ其內容ヲ觀フヤウデ恐縮デアリマスルガ、是ハ健康保險ハ一日モ今日ハ遲ラセラル事ガ出來ナイ、急ヲ要スルコト云フ點ニ於テ或ハ調査會ノ調査ノ進行ガ遅レタトカ、其他ノ理由ニ依リ今回ハ兎モ角モ此二點デケテ調査濟ニナッテ居ルガ爲ニ御出シニナッタノデアッテ、他ノ點ニ於テ未ダ調査ノ遲ビガツカヌカラ先ヅ先キニ出シタト云フノデアリマセウカ

○政府委員(男爵四條隆英君) 御答致シマス、成程理想カラ中シマスレバ勞働保險制ノ如キハ、大分疾病ナリ、災害ナリ、或ハ老廢ナリ各種ニ付テ行フ必要アルコトハ、勿論認メナケレバナラヌコトト考ヘマスガ、御承知ノ如ク此永久の傷害ニ屬スル者ニ於ケル救済手段方法ニ付テハ、尙ホ多少利害得失ヲ考究ナケレバナラヌ點モ少クナイト思ヒマス、ノミナラズ只今申上ゲマスヤウニ、是等ノ長期ニ亘リマス所謂基礎材料ニナリマスヤウナモノハ、ナカク之ヲ調査致シマススコトモ容易デ無イデアリマス、サレバト申シマシテ決シテ之ヲ等閑ニ付シテ居ル譯デハゴザイマセウカ、疾病トカ負傷トカ云フモノハ日常常々、而カモ多數ニ起リ得ルコトデアリマス、此所謂救済ヲ致シマスレバ他ノ所謂癱瘓トカ、遺族ノ扶助トカ云フモノヨリモ餘程必要ノ程度ガ遠ウト思フ、而カモ是等其他ノモノハ未ダ十分ニ調査ガ完了セザルガ故ニ、之ヲ待ッテ居ルト云フ理由モ無イコトト考ヘマス、先ヅ最モ多クノ場合ヲ救済致シマス建康保險法ヲ實施致シマスコト云フコトガ、今日ニ於テハ最モ急務中急務デアリ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス。

○男爵平野長祚君 此疾病災害ト云フ點ニ於テ、今回健康保險法ヲ御提出ニナッテ只今御説明ノ如ク、尙ホ其他ノ點ニ於キマシテモ今後著々調査等ニ於テ其歩ヲ進メラレル御見込デアリマスカ

○政府委員(男爵四條隆英君) 此健康保險ヲ實施致シテ參リマスル、其實施運用ニ伴ヒマシテ他ノ癱瘓保險トカ其他ノ保險ノ基礎材料トナリマスモノハ、精確ナル材料ヲ調査致シマスノニモ非常ナ便宜デアリマス、而シテ勿論當局トシテハ各般ノ勞働保險ノ制ニ付キマシテ、調査研究ヲ續行致シテ參リマスコトハ、勿論ノコトニ考ヘテ居リマス

○男爵平野長祚君 モウ一ツ範圍ノ點ヲ伺ヒタイデスガ、此法案ニモ一カラハマデアリマスガ、海員ノ保險ト云フコトハ無論別トシテ、海上ノ勞働者、海上勤務ノ勞働者ニ付

テ仕事ハ何等ニ御規定ガナイ、私仄カニ聞キマス海員ノ保險ニ付キマシテハ、何カ御提案ナリ御處分ガアルカノヤウニ聞イテ居リマス、是ニモ亦海上ノ他ノ勞働者ト云フモノニ付テハ、餘リ願ラレテ居ラヌヤウニ思ヒマスガ、是等ハ何カ茲ニ御拔カシニナリマシタ理由ガアリマスノデアリマスカ、例ヘバ漁業、漁ノ事業ニ從事シテ居ル勞働者、或ハ之ニ附帶スル仕事ハナカク(勞働者ガ多クアラウト思ヒマス、今日マデ獨リ此法案ノミナラズ、他ノモノニ付テモ漁業者ガ何レカラモ輕ンゼラレル意味デアリマスカ、ドウモ願ミラレスヤウナ一體有様ガアル、何ガ故ニサウ云フモノヲ茲ニ包含サレナカッタノデゴザイマスカ、其點ヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(男爵四條隆英君) 只今ノ海員ニ關シマスルコトニ付キマシテハ、是ハ別ニ通信省ノ方デ考究ヲ致シテ居ルダラウト思フガ、ソレニ關聯致シマシテ所謂海上ノ漁業勞働ノ如キハ、之ト餘程密接關係ヲ持チマスノデ、其方面ニ於テモ關係イタシテ居ルヤウナ譯デアリマス、併ナガラ他ノ一面ニ於テ、此漁業勞働者ノコトニ付キマシテハ、十分ナル検査調査等ガ整ッテ居リマセウ、ソレカラ尙ホ茲ニ掲ケマスガ、併ナガラ漸次是等ノ範圍ハ擴張サレ得ルコトノ性質ヲ持ッテ居ルモノト認メマスカラ、八號ノ「前各號」掲ゲルモノノ外勅令ヲ以テ特定スル事業ト云フ中ニ、將來之ニ依テ必要ナル相當ノ適當ナル事業ニテ擴張シ得ル途ヲ開イテ置イタ積リデゴザイマス

○金杉英五郎君 チョット伺ヒマスガ、是マデ本法ト同等又ハ同等以上ノ效力アル共濟組合ト云フヤウナモノガ、設定シテアルヤウニ承ッテ居リマスガ、サウ云フコトガゴザイマスカ

○政府委員(男爵四條隆英君) 從來存シマスル共濟組合ノ中ニ於キマシテ、至ク本法ト全然同一若クハ同一以上ト云フモノハ、是ハ見様ニモ依リマススケレドモ極メテ少イ、一二特別ノ例外ハゴザイマススケレドモ、其他ノ共濟組合ハ數ハ可ナリゴザイマスルケレドモ、給付ナリ其他ノ點ニ於テ著シク本法ヨリ低イ程度ノモノト存ジマス

○金杉英五郎君 有ルコトハ有リマスナ

○政府委員(男爵四條隆英君) 一二見様ニ依リマシテハ、是ヨリ宜イト云フ點モ有ルカモ知レマセウガ、又他ノ點ニ於テソレヨリ低イト云フヤウナコトガアリマシテ、一概ニ申サレマセウガ、先ヅ少ナクモ是位ノ程度ニ近イト云フモノハ極メテ少數デゴザイマス

○金杉英五郎君 若シ有力ナル共濟組合ガ既ニ出來テ居ルト云フ話デアリマシタナラバ、ソレハ現行法ノ組合ト云フ

コトニ直グニ振替ルコトガ出來ルモノデアリマス
○政府委員(男爵四條隆英君) ソレハ勿論隨意デアリマス
ガ、之ニ變更シ得ルノデアリマス
○金杉英五郎君 強制保險ニ加入サセナクテモ宜イノデス
カ

○政府委員(男爵四條隆英君) 義務ハ負フテ居リマス、假
令共済組合ハ持ッテ居リマスケレドモ、本法ノ所謂労働者ヲ
使用シテ居リマスモノガ、本法ノ適用ヲ受ケマスカラ、自然
ソレガ強制加入ヲ認メナケレバナラス、而シテ本組合ニシ
レマデラ健康保險組合ニスルト云フコトハ出來ルコトと思
ヒマス

○委員長(子爵片桐貞夫君) 大體ニ付テ御質問ガゴザイマ
セスカ、大體ニ付テノ質問ガゴザイマセスケレバ逐條ニ移
リダイト思ヒマス

○委員長(子爵片桐貞夫君) 此條ハ逐條ニ致シマス、チ
ヨット同ヒマスガ、一條一條申上ゲマセデ一章ツツニシテ
御質問ヲ願フタラ如何デアリマスカ

「上山滿之助君(贊成)ト呼フ」

○委員長(子爵片桐貞夫君) 第一章總則、第一章ニ御質問
ハゴザイマセデスカ、アリマセスケレバ第二章ニ移リマ
ス、第二章ニ御質問ガナイヤウデゴザイマセスカ第三章ニ
移リマス、第三章ニ御質問ガゴザイマセスケレバ……

「委員外議員藤本閑作君發言ノ許可ヲ求ム」

○委員長(子爵片桐貞夫君) 此際ニ皆サンニチヨット御諮
リイタシマスガ、委員外ノ御方カラ質問ヲ許シテ貰ヒタイ
ト云フ請求ガアリマスガ……

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○委員長(子爵片桐貞夫君) ソレデハ第三章ニ御質問ガアル
サウデスカラ、此際御質問ガアルサウスカラ此際御質問ヲ
願ヒマス

○委員外議員(藤本閑作君) 三條ノ「標準報酬ニ關スル事
項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」其勅令ハドウ云フモノガ出マス
ルカ知レマセスガ、從前私共ガ炭山ノ方デ經驗ガゴザイマ
スカラ、其方カラ割出シテ、其鑛山ノ鑛夫扶助規則、アレニ
依リマス、何日分働クト何日分ノ常備金ヲヤルト云フコ
トニナッテ居リマス、此何日分ト云フ其日給ノ算出ノ基礎
三十日働イタ賃銀ノ平均額、其三十日間ノ中十日程働イデ
二十日休ム、其中ニ十日働イテナイ、三十日ナラ三十圓ト
見マスト云フ一圓ト云フ平均ニナル、是ガ事實ノ上ニ於
テ非常ニ困ッテ居ルノデアリマス、何故困ルカト申シマス
ト、詰リ能ク働クモノハ一箇月三十日ノ中、二十日以上二十
五日位働キ得ル……

○委員長(子爵片桐貞夫君) チヨット同ヒマスガ、ソレハ第
三條デスカ
○委員外議員(藤本閑作君) 第三條ノ標準報酬ト云フコト
ニ付テ……

○委員長(子爵片桐貞夫君) ドウカ御續ケテ願ヒマス
○委員外議員(藤本閑作君) ソレデ能ク働キマスルモノ
ハ二十日以上二十五日位働キマスモノデゴザイマスカラ、
一日ノ賃銀ノ高ハアマリニ少ナイ、怠ケル方ニナリマス
ト云フト、働ク時分ニハ非常ニ働キマスケレドモ、一日働イ
テ一日休、能ク働ク者ノ半分ハ働カスト云フコトニナリマ
スカラ、一日ノ所得ハ怠ケル方場合ニ依ルト云フト平均
額ハドウシテモ多イ、ソレデソコガ甚ダ從前ノ實驗困難ヲ
居リマスノデ、其コトハ工務局長アタリデハ再々意見ヲ申
上ゲマシタケレドモ、マダ何等ノ規則ノ改正ガ出來ナイカ
ラ、今度ノ法ニ依テハ矢張從前ノ前申シマシタ鑛夫扶助規
則ニハ確カ農商務省ノ省令カラ出テ居ルモノデアルト記
憶シテ居リマスガ、矢張アア云フ風ニ御ヤリニナル御考デ
アリマスカドウデアリマスカ

○政府委員(男爵四條隆英君) 御答ヲ申上ゲマスガ、現在
ハ鑛業法ナリ、若クハ工場法ニ依テ居リマスルケレドモ、是
ハ日給幾ラト云フコトヲ書イテ居ルノデアリマスシテ、茲ニ
掲ゲテ居リマスケレドモ、標準報酬ノ率ノ立方ガ違テ居ル
ノデアリマス、今度ハ兎ニ角具體的ノ一々個々ノ賃銀ニ依
テ決メテ參リマス、是非非常ニ手續ガ繁雜デ、又事件ガ
起ク時ニ、其事實ヲ調べナケレバコトガ決マスト云フヤ
ウナコトデハ、迅速ニ決定イタシテ行クコトガ出來ナイヤ
ウナ譯デアリマスカラ、アア云フ標準報酬ト云フモノヲ立
テマシテ、其標準報酬ノ幾ラニ當ルノデアルト云フコトデ、
ズン／＼始末ヲ付ケテ行クト云フコトデ、標準報酬ト云フ
コトヲ書イテ居ルノデアリマス、現在ノ鑛業法工場法ニ書
イテアリマス様ニ、日給ノ何日分ニ依テ居リマス現在ノ日
給トハ違フ、ソレカラ標準報酬ノ定メ方デアリマスガ、是ハ
事業ノ性質ナリ又ハ其種類ニ依リマシテ、餘程實際ノ事情
ニ適應スルヤウニ定メマセスト、一方餘リ標準報酬ノ決メ
方ガ實際ヨリ較ベテ、高クナリマスレバ、寧ろ假病ト云フヤ
ウナモノヲ誘發スル虞ガアル、實際ノ必要ヨリ低スギルト
救済ノ目的ヲ達セスト云フヤウナ關係ガゴザイマスカラ、
ソレ等ノ狀況ヲ充分考慮致シテ或ハ調査會等ノ諮問ヲ致シ
テ、決定イタシタイトハ考ヘルノデアリマスガ故ニ、之ヲ勅
令ニ讓リマシタ次第デゴザイマス

○委員外議員(藤本閑作君) 御承知ノ通り炭山アタリハ大
抵是ハ石炭ヲ一噸掘ッテ幾ラ、斯ウ云フコトニ總テナッテ居
ル、所謂請負作業デアル、ソレカラ坑内ノ坑道ノ修繕ヲシマ
シテモ、此處カラ此箇所マデ三間ナラ三間、十間ナラ十間ノ
間ヲ斯ウ云フ方法ノ作業ヲシテ、是ガ何百何十圓總テ請負
デアル、サウ云フコトハドウ云フヤウナ振合ニナッテ居リ
マス

○政府委員(男爵四條隆英君) ソレ等モ矢張仕事ノ請負ヲ
致シテ居リマシテモ凡ソ彼等ノ生活上ノ關係カラ一日デハ
ドノ位ノ賃金トシテ當リ得ルカト云フ事ハ、彼等ノ間ニ自カ
ラアルト思ヒマス、ソコデサモナケレバ中ノ生活ヲ致シマ
スニ、家族モ養フテ行カナケレバナラス事デアリマスカラ、凡
ソノ何ガアルノダラウト思ヒマス、ソレ等ノ能ク實際ノ事
情ニ適合スル所ノ標準報酬ト云フモノヲ定メタイト考テ居
ル次第デアリマス、隨テ勅令ヲ定メマス場合ニ種々各方面
ニ諮問イタシマシテ適當ニ致シタイト云フ斯様ナ考デ居リ
マス

○委員外議員(藤本閑作君) サウスレバ勅令デゴザイマス
レバ九州ナラバ是ダケ、中國ナラバ是ダケ、北海道ナラバ是
ダケト相當ニ御分ケニナル考デアリマスカ、全國ヲ唯一率
ニ御定メニナル御考デアリマスカ

○政府委員(男爵四條隆英君) 地方的ニ定メル考ハ有ッテ
居リマセスガ、其所謂定メ方ニ付マシテハ大體勅令ヲ以テ、
斯様ナモノニ付テハ斯様ダト云フ風ニ決メテ行キタイト云
フ考ヲ有ッテ居リマス

○委員長(子爵片桐貞夫君) 藤本サンニ一寸申上ゲマスガ
今マデハ第三章ノ終リノ四十二條マデ済ンデ居リマス、其
範圍内ニ於テ御尋ヲ願ヒマス

○委員外議員(藤本閑作君) 此範圍デ御尋ネ致シマスガ、給
付ト云フモノハ病氣ニ罹リ……病氣ナラ病氣ト云フ場合ニ、
此醫者ノ方ノ詰リ藥トカ療治ト云フ事ノ外ニ何デスカ、例
ヘバ滋養物ガ要ルトカ入湯ニ行カナケレバナラスト云フ時
分ニハ總テ一切ノモノガ含ムノデアリマスカ

○政府委員(男爵四條隆英君) 御答申上ゲマスガ、ソレハ……
○委員長(子爵片桐貞夫君) 藤本君ニ一寸申上ゲマスガ、
今御質問ハ四章ニアルノデアリマスガ後程ニ願フ方ガ宜
イト思ヒマス唯今ハ三章ノ終リノ四十二條マデ済ンデ居ル
ノデアリマス、其範圍ニ於テ願ヒタイ

○委員外議員(藤本閑作君) 今私ハ給付ト云フコトニ付テ
第一條ニモ給付ト云フコトガゴザイマス、唯給付ト云フ文
字ニ付テ……

○政府委員(男爵四條隆英君) 只今御尋ノ事ハ四章ノ第四
十條ニ「被保險者ハ疾病又ハ負傷ニ關シテハ療養ノ給付ヲ
爲ス、前項ノ療養ノ給付ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」斯ウ
書イテゴザイマス、ソレヲ一方カラ申シマス、保險者ガ不
十分ナル治療ヲ與ヘテ其責任ヲ成ルベク輕クシヤウト云フ

ヤウナ弊モ起ラストモ限リマセス、ソレデゴザイマスカラ
茲ニ於テハ保險者ノ義務ノ程度ヲ定メル必要ガアリマス、
又療養ニ對シテ十分ナリトシテ訴訟ヲ起シヤウナ弊害ニ
陷ルト云フコトモ、甚ダ面白クナイコトモ思ヒマス、此
療養給付ノ範圍ト云フモノハ勅令ヲ以テ定メタイト云フコ
トデ、第四條ノ中ニ規定イタシマシタ次第デアリマス
○委員長(子爵片桐貞次君) ソレデハ御質問ハナイヤウデ
アリマスカラ四章ニ移リマス

○北里三郎君 是ハ何モカモ少シ込ミ入ッテハ勅令
勅令ト云フコトデ出テ居リマスガ、例ヘバ五十條ノ分曉シ
タル時ノ費用ナドニシテモ亦分曉ノ前後ナドト云フヤウナ
コトハ、是ハ法律案ニ書ク譯ニ行キマセヌノデスカ

○政府委員(男爵四條隆英君) 御答申上ゲマスガ、是ハ產
後ノ分ニ付マシテハ今日始テ六週間ト云フコトハ餘リ異論
ガナイヤウデアリマスガ、産前ノ所謂保護ニツキマシテハ、
各國トモ區々ニナッテ居リマス、國際労働條約ニシマシテ
モ一方ニ於テハ付議中デアリマスケレドモ、是ハ六週間ト
云フコトデ條約ヲ結ンデ居リマスニ拘ラズ各國共ニナ
ッテ居リマス、其點ハモウ少シ實際ノ事例ヲ集メマシタ上
デ決メタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、故ニ勅令ニ讓リマシタ
ノデアリマス

○北里三郎君 其事例ハ日本ノ事例ニ過ギナイノデスカ、
是ハ各國大分違フタラウト思ヒマス

○政府委員(男爵四條隆英君) 各國ノ事例モ參考ニスルト
云フ意味デ實ハ今外國ニ衛生官ヲ出張サセテ居リマス、近
々ニ歸リテ參ルノデアリマス、ソレ等ノ點モ亦利害等モ講究
シタイ、斯ウ云フ意味デ成案イタシマス 場合ニ之ヲ參考ニ
致ス積リデアリマス

○男爵武井守正君 一年內百八十日トアリマスガ、二年ニ
跨ガタ場合ニハ百八十日デナイノデアリマスガ

○政府委員(男爵四條隆英君) 是ハ所謂一年ノ內百八十日
デアリマス、年ガ變リマシテモ亦百八十日致シマス、詰リ
一年間ノ中百八十日間、即チ六箇月間ハ治療イタシマス、其
以上ノモノハ此處デハ扱ヒマセヌ、年ガ變リマシマスレバ、又ソ
レハ扱フノデアリマス

○男爵武井守正君 八月カラ支給イタシマシテ五箇月デ其
年ガ濟ンデ、其翌年ニナリマシテ 又一月カラ六月マデ又ヤ
ラウト云フノデアリマスガ

○政府委員(男爵四條隆英君) 左様デアリマス
○男爵武井守正君 サウスルト十一箇月モヤルト云フ風ニ
ナリマス、サウ云フ積リデアリマスガ

○政府委員(男爵四條隆英君) ソレハ大體此保險率ガ百八
十日デ治療スルモノトシマシテ基礎力計算シテゴザイマス

カラ、二年一年ニ計算ヲ詰リ打切ッテ行ク事ニナリマスカラ、
保險經營ノ上ニ於キマシテ其基礎ヲ危クスルト云フ虞カナ
イノデアリマス、ソレデソサウ云フヤウナコトノ結果ニナ
ルノデアリマス

○委員外議員藤本閑作君 四十五條ニ其期間傷病手当金ヲ
支給スルト云フ事柄ガゴザイマスガ、是ハ獨身者トソレカ
ラ家族ノ多イ者トデハサウ云フ場合ニソコヘ差ノ付ク者デ
ゴザイマスガ、之ヲ見マスト獨身者デアルト、家族ノ多イ少
ナイニ拘ラズ、平等ニ百分ノ六十ト云フモノヲヤルト云フ
事ニナッテ居リマスガ、家族ノ多イ少ナイト云フ事ハ、御考
慮ノ中ニ入ッテ居リマセスカ、何カ別ニ御考ヘガアリマスガ

○政府委員(男爵四條隆英君) 大體百分ノ六十ト云フモノ
ヲ決メマシタノハ、此ノ工業ニ從事イタシマス所ノ工業労働
者、鑛山ニ從事イタシマス 鑛夫等モ、生計調査ノ結果大體最
低率ニ必要ナル限度ト認メマシテ之ヲ決メマシタ次第デゴ
ザイマス、是ハ既ニ現在ニ於テモ災害等ノ場合ニ於テハ工業
保險者ガ單獨ニ責任ヲ以テ既ニ百分ノ五十ト云フ者ヲ負擔
シテ居ルノデアリマス、今回ハ所謂保險ニ於キマシテモ從
業者モ平素ヨリ賃銀ノ先ヅ大體ニ於テ半額百分ノ五十ト
云フモノヲ出シテ居ル譯デアリマス、保險料ガ……斯ウ云
フヤウナ譯デアリマスカラ、是ガ百分ノ六十ニナリマシテ
モ大シタ是ハ從業者ノ方カラ見マシテモ、大シタ増加デハ
ナイノデアリマス、斯ウ云フ譯デアリマシテ、先ヅ生計ヲ維
持シテ參リマスニ於テハ賃銀ノ六割位ハ支給シナケレバナ
ラスト云フ統計上ノ基礎カラ此額ヲ定メマシタ 理想ト致
シマシテハ、モウ少シ高イコトヲ實ハ望ンデ居ルノデアリ
マスガ、斯ウ云フ譯デゴザイマシテ、先ヅ百分ノ六十ト云フ
モノハ生計ヲ維持シテ參リマス限度ノ必要ト認メマシタノ
デアリマス

○委員外議員藤本閑作君 私ノ實見シマス所デハ、ドウモ各
工場、各炭山邊リニモ共濟會トカ、ソレニ似寄ッテ方法ヲ調査
會、其他ノ他ノ方法デ幾分救済スル途ハ大抵實行シテ居ル
所ガ多イヤウニ聞イテ居リマスガ、夫等ノ者ガヤッテ來マシ
タ所ハ、休ンダ折ニ療養費以外ニ、療養手當ヲヤル事ヲ
實行シテ居ル所ハ餘程少ナリ様ニ聞イテ居リマス、唯私ノ
憂フル所ハ病氣ノ爲ニ仕事ヲ休ンデ居テモ手當ヲ貰ヘルト
云フコトニナリマス、ソコニ其種々ナル弊害ガ起キハシ
ナイカト云フ事ヲ非常ニ憂ヘルノデアリマス、ソレカラ又
病氣等モ、モウ仕事ニ何等差支ナイト云フ風ニ素人眼カラ
見マシテモ、矢張當人ノ所デハマダ病氣ガ癒ホラスト云フ、
醫者ニカケマシテモ、其間醫者ハ平素ノ交際モアリマスガ
ラ、患者ガ惡イト云ヘバ強イテ藥ヲ出ス、斯ウ云フ事デ從前
實見上非常ニサウ云フ場合ニ、如何トモ仕方ガナイ困ッテ居

ル、ソレデ矢張斯ウ云フ法ガ出來マシタレバ休ンダ上ニ、手
當ガ貰ハレル、斯ウ云フコトニ付テハ所謂露骨ニ言ヘバ大
病ノ獎勵ト云フ惡イ傾向ヲ來シハセヌ事ガ、誰シモ事業家
ノ頭ニハ一番先ヘ浮ブノデス、尙ホ私ノ質問ノ御答ハ、私ハ
能ク分リマシタガ、假ニ手當ヲヤルト致シマシテモ、唯一人
ガ單獨ノ今ノ労働者、ソレカラ家族ノ餘計連レテ居リマシ
テ、働ク人ハ唯主人一人ノ労働收入ニ從テヤッテ行クト云フ
者トハ、此生計上ノ脅威ガ餘程遠フカト思ヒマスガ、其邊ニ
付テハドウ云フ御考ヘデアリマスガ

○政府委員(男爵四條隆英君) 御答申上ゲマスガ、御話ノ
ヤウナ點ハ多少アラウト思ヒマス、ト云フノハ別ニ之ハ取
締ノ途ガ法律案ニ於テ定メテ居リマセスカ、併ナガラ元來
所謂自分デ怪我ヲ拵ヘテ來テ、私ハ怪我ヲシマシタ、私ハコ
レデ働ケマセスト云フコトヲ訴ヘテ來ルト云フコトハ、ド
ウカト思フノデアリマスガ、併シ從來ハ今ノ御話ノヤウナ
コトハ諸處ニ於テ見得ル例デゴザイマス、サウ云フ譯デゴ
ザイマスカラ、今回ノ法律ニ於キマシテハ、サウ云フ譯デゴ
ザイマスガ、今同ノ法律ニ於キマシテハ、即チ六十
分ニ取給ルベキ規定ヲ置キマシタノデアリマス、即チ六十
三分ナリ六十四條、六十五條ノ規定ヲ置キマシタカラ、餘リ
只今ノヤウナ弊害ヲ防グ趣旨ヲ以テ置イタノデアリマス、
即チ保險ガ正當理由ナケレバ、療養ニ關スル、傷病ノ手当金
ハヤラズデモ宜シイ、又正當ナ理由ナクシテ保險金ヲ受ケム
トシタ者ニ對シテハ、保險給付ノ全部又ハ一部ヲヤラズデ
モ宜シイ、又保險者ハ必要ナイト認メレバ診斷ヲ行フテモ宜
シイ、是等ノ點ヲ設ケマシテ只今申シ述ベマシタ、不心得
者ヲ矯正スルダケノコトヲ法律ノ上ニ於テ規定イタシテ
居タヤウナ次第デゴザイマス、多分今後は等ノ法制ノ下ニ
於キマシテ只今御述ベニナリマシタヤウナ御心配ハ却テ
是等ノ法ヲ運用致シマスレバ、却テ矯正スルコトハ出來ル
ト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○委員外議員藤本閑作君 此六十三條、六十四條ア、云フ
場合ガ實際問題ニナッテ、何時デモ詰リ労働者ト從前デ申シ
マスレバ事業主トノ争ヒニナッテ、餘リ嚴格ニシマスト云フ
ト、詰リソレナラ出テ行ク、斯ウ云フ風ニナリマス、ドウモ
是ガ其唯、席上ニ論ズル様ナ譯ニ行カヌ者デ、是ハ實ニ困
テ居ルノデアリマス、御役人的ニヤリマス、ソレト云フ、ドウモ
鑛夫ノ感情ヲ害スルヤウナ場合ガアリマス、所謂緩急宜
シキ得ルト云フコトガ此民業ノ方デハ中ニムヅカ、所謂緩急
デアリマス、實際上……ソレカラ醫者ト云フ事ニ致シマシ
テモ、鑛夫ガ行ッテ利巧ニ、イヤマダ此處カ痛イトカ、ドウ
トカ言ヒマスレバ、醫者ガ脈ヲ御握リニナッテ、分ル事ナラ
兎モ角デスケレドモ、中ニ一々サウ云フ譯ニ行カヌ場合ガ
往々アルモノデスカラ、非常ニ困ルノデス、實際上……

○金杉英五郎君 只今藤本君カラノ御質問デアリマシタガ、何レ疾病及負傷ノ診斷ナドト云フコトハ細則デ後御定メニナルコトデアラウト思ヒマスケレドモ、ドウモ醫者ガ事業主ノ方ニ加擔シテ居ルモノモアラウトシ、ソレカラ勞働者ノ方ニ加擔シテ居ルモノモ……加擔ト云フトオカシイデスガ、偏シテ居ル、サウ云フ場合ニハ之ヲ歐羅巴ニモ亞米利加ニモ澤山起リタ例ノヤウニ存ジテ居リマスガ、少シ意見ニナリマスガ、斯ウ云フ場合ニハ其土地ノ醫師會カナンカニ診斷ヲ任セリヤウシタ餘程工合カ宜イト思ヒマスガ、サウ云フ御考ハゴザイマセヌデス

○政府委員(男爵四條隆英君) 此治療期間ヲドウ云フ風ニスルカト云フコトハハ餘程重大ナ問題デアリマス、之ヲ其無制限ニ醫師ト治療方法ヲ保險者ノ任意選擇ニ任セルト云フコトニナリマスレバ、之ハ又一面ニ於テ費用ガ増加イタシテ參リマス、又假病其他不當ニ日限ヲ延スルト云フ傾向ヲ生ジ來マス、サレバト申シマシテ他ノ一面ニハ御醫者サノ方ノ立場モ十分ニ考慮シナクチャナラス、之等ノ點ヲ所謂圓滑ニ支障ナク運用シテ行クト云フコトガ保險ヲ實施イタシテ參リマス上ニ餘程重大ナコト考ヘテ居リマス、從テソレハ大體先ヅ御醫者サノ方ト能ク了解ヲ達シテ、成ルベク此保險運用ノ上ニ支障ノナイヤウニ移テ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、之等ハ餘程重大ナ關係デアリマスカラ、尙ホ能ク各方面ニ諮問ナリ了解ヲ達ガマシテサウシテ行キタイト只今ノ所考ヘテ居リマス

○男爵平野長祥君 四章ヲ質問シテ宜シイノデスナ

○委員長(子爵片桐貞央君) 四章デアリマス

○男爵平野長祥君 五十條ノ此出產手當金ノコトデスガ、分娩ノ前後ノ期間ヲ令ニ入レラレテ居リマスルガ、是ハ法律ヲ以テ產前幾日、產後幾日ト規定スルノハ何等カノ理由ニ於テ都合デアッテ、特ニ勅令ニセラレタト云フコトデアリマスガ、其點ヲ伺テ見タイノデアリマス、而シテ勅令ヲ以テ定メラレルコトニナリマスト云フト、ドウ位ノ產前產後ノ日數ニ略御腹案ガアリマスガ、其點ヲ……

○政府委員(男爵四條隆英君) 之ハ先キ程北里君サノ御質問ニ對シテ御答申シマシタ通りニ、產後ノ場合ハ大シタ問題デナイト思ヒマスガ、產前ノ期間ヲ定メマスナレバ尙ホ少シ外國等ニ於テ實施サレテ居リマス事情ヲ參照イタシタイト云フコトデ此勅令ニ依リマシタ、左様ナ譯デゴザイマスカラ、今別ニ之ト云フ腹案ハゴザイマセヌガ之ハ產前六週間ハ要ルマイト考ヘテ居リマス

○江木翼君 只今ノ御答ハ少シ私不穩當デハナイカト思ヒマスガ、兎ニ角華府會議ニ於テ條約案トシテ前後各六週間

ト云フコトニ定メテ、之ニ政府ノ代表モ調印シテ居ラレルノデアリシ、政府ハ之ヲ入レル積リデ多分樞密院ノ方ニ廻シテ居ラレルデハナイカト思フノデアリマシタ、六週間必要デナイト云フヤウナ意味合ニ只今聞エマシタガ、ソレデアルト私ハ穩カデナイト思ヒマスガ、如何デアリマスガ、○政府委員(男爵四條隆英君) ソレハ御答申上ガマスガ、先程モ北里君サノ御質問ニ御答アリマシタヤウニ、目下權限アル機關ニ附シテ居ルノデアリマスガ、若シ假ニ之ガ同意ヲ得ナカッタ場合ニ意味デ私ハ中上ゲタ譯デゴザイマス、同意ガナカリシ場合ニ尙ホ外國ノ條例等ヲ見テ、ソレヲ點ヲ考慮スル必要ガアル、斯様ニ中上ゲマシタノデ、決シテ其方ヲ無視シタト云フ譯デハナイノデアリマス、其點ハ訂正シテ置キマス

○委員長(子爵片桐貞央君) 四章ニ御質問ナイヤウデスカラ五章ニ移リマス……五章ニ御質問ゴザイマセヌケレバ六章ニ移リマス、六章ニゴザイマセヌケレバ七章……七章ト附則ニ移リマス

○北里榮三郎君 之ハ此附則ノ期日ハ勅令ニテアリマスガ、之ハ此勅令ノ期日ヲナンナサル前ニ、今ノ色ニ細則ヲ定メラレルコトガ定タ上デゴザイマスガ、此法律ハ……

○政府委員(男爵四條隆英君) 大體施行ハ大正十二年度ヨリ施行致シタイ考ヘデアリマス、從テソレヲ總テノ施行ニ必要ナ勅令ヲソレマデニ制定イタス必要ガアル譯デアリマス

○北里榮三郎君 十二年度デスナ

○政府委員(男爵四條隆英君) はい

○委員長(子爵片桐貞央君) 七章、附則ニ御質問ガナイヤウデスカラ……マダ質問ノ残りノオアリノ方ハ全體ニ付テ御質問ヲ願ヒマス

國カラ歐羅巴ノ方ヘ此強制保險ノ爲ニ相當ノ有力ノ機關カラシテ調査ニ行カレタ結果ガ新聞ニ出テ居リマシタ、其新聞ヲ見マス、米國カラ調査ニ行カレタ方ハ、今ニ強制保險ニハ種々ノ弊害ガアルカラシテ、米國ハ實施スベキモノデナイト云フ結論ニナッテ居ルコト云フコトヲ、チヨット見タデアリマスソレハ兎モ角ト致シマシタ此本法ヲ御實施ニナリマスニ付テハ、政府ハ外國ニ御出張ニナッテ、實地ヲ御取調ベガアッタノデアリマスガ、伺ヒマス、尙ホ伺ヒタイト云フコトハ、此全國ノ工場ヤ石炭山ノ實地ニ付テモ御取調ベニナリマシタ上デ此本案カ出來タノデアリマスガ

○政府委員(男爵四條隆英君) 御答申上ガマスガ、此勞働保險制ヲ實施シタイト云フコトハ、政府ト致シマシタハ、實ハ昨今俄ニ思付イタ譯デアリマス、既ニ工場法制定ノ當時カラ勞働保險制ノ必要ナリト云フコトヲ疾ニ認メテ居ル譯デアリマス、斯様ナ譯デアリマスカラ、農商務省トシテハ屢々海外ノ是等ノ法令、並ニ實地ノ上ニ付テノ調査ハ斷エズ致シテ居ッタノデアリマス、尙ホ工場、鑛山ニ付テハ屢々調査シテ居リマシタ、種々強制保險ニ於ケル實地、其他ノモノヲ調査シテ居リマシタ上デ、是等ノ制度ヲ實施スル爲ニ種々斯様ナ報告ヲ徵シテ居ッタノデアリマス、決シテ昨今思付イタ俄ニ斯ウ云フ事ヲヤラネバナラスト云フ譯デアリマセヌ、尙ホ外國ノ工場ニ付キマシタ、第一外國デハ勞働保險ハ害アッテ益ナシト云フ御尋ガゴザイマシタガ恐ラク外國ニ於テモ所謂此輕キ事體ニ付テハ、リウ大シタモノハナイト思ヒマス、或ハ年金ナドヲ送ルヤウナ制度ニ付テハ色ノ非難ガアッテ、勿論是ハ其弊ヲ取締ラヌケレバナラスト云フ事ヲ言ッテ居ル者モアルヤウデアリマス、併ナガラ大體ニ於キマシテ此勞働保險ノ制度ナル者ハ、何時デモ實施ノ當初ニ於キマシテハ、只今御述ベニナリマシタ様ナ議論ガ隨分外國デモ出タノデアリマス、而シテ兎ニ角是ハ論ヨリ證據、是ハ御承知ノ通り勞働保險制ノ元祖ハ獨逸デゴザイマスガ、獨逸ガ初メテ此制度ヲ布カウト致シマシタ當時ニ於キマシテハ、資本家側ノ意見ニハ、只今仰セラレタヤウナ意見ヲ熾ニ言ッテ居ッタノデアリマスケレドモ、兎ニ角獨逸ガ最近イタシマスマデニハ、産業上ノ偉大ナル發展ヲナシマシタ、兎モ角苦情ヲ言ハレタト云フコトハナイト私ハ認メテ居ルコトデアリマス、決シテ只今御述ベニナリマシタヤウナ御心配ハナイノデアアルマイカト、斯様ニ當局ト致シマシタハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長(子爵片桐貞央君) モウ御質問ハゴザイマセヌカ

○委員長(子爵片桐貞央君) 〔アリマセヌ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵片桐貞央君) ソレデハ逐條ニ涉ッテノ御質問

五

問ハ終了シタモノト認メテ御異存アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵片桐貞央君) 然ラバ終了シタモノト認メマス、今日ハ是デ散會イタシマス

午後二時三十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵片桐 貞央君
副委員長 江木 翼君

北里 柴三郎君

男爵武井 守正君

上山 滿之進君

男爵平野 長祥君

男爵福原 俊丸君

委員外議員 金杉 英五郎君

藤本 閑作君

政府委員

農商務省工務局長 男爵四條 隆英君

農商務書記官 膳 桂之助君